

歯周病と全身疾患

歯周病は「生活習慣病」の1つです。

適切な「歯周病治療」「歯周病予防」は「**生活習慣病**」の改善にもつながります。

「歯周病」がもたらすリスク、「歯周病」へのリスクのある全身疾患についても知っておきましょう。



食べ物などが食道に入らず気管に入り込むことを誤嚥と言います。歯周病でさらに嚥下障害があると、誤嚥を引き起こした時に肺に歯周病菌が入り込み、それが原因となって肺炎を引き起こすと考えられています。これを誤嚥性肺炎と言います。

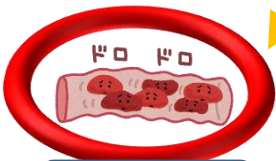


肺炎



喫煙

タバコを吸う人は、吸わない人に比べ3倍も歯周病にかかりやすく、また2倍も多く歯を失っているという報告があります。



動脈硬化



高血圧

心臓病

歯周病は血栓を作りやすく、心内膜炎や脳卒中、脳梗塞を起こす危険性は約2倍になると言われています。



低体重出産

歯周病菌が炎症を起こした歯肉の血管から血中に入り込み、それが羊水中に入り胎児の成長に影響を及ぼすと言われています。



骨粗鬆症

歯周病というのは本質的には骨の病気なのです。骨粗鬆症も骨の病気ですから両方がなんらかの関係があるのではないかと考えるのは自然のことです。



糖尿病

歯周病により、ハグキの中で作り出される炎症性物質は、血液を介して血糖をコントロールするホルモンであるインスリンの働きを妨げ、糖尿病を悪化させる可能性があります。また、高血糖状態でハグキの血管が傷んでしまうことで、歯周病が進行しやすくなります。

→ 直接的要因
→ 間接的要因

古河健康保険組合

健診実施事業者：一般社団法人総合健康促進保健協会